

◆西蔵集会所【平成30年4月21日(土) 参加者数16人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質問・意見等	回答等
1	朝日ヶ丘幼稚園跡に民間の認定こども園を誘致するということが、地下駐車場建設の約1億～2億円を市が負担し、園舎撤去費用の約5,000万円を事業者に補助すると聞いているが金額は正しいか。また、朝日ヶ丘小学校の第2グラウンドの宅地造成費用はいくらか。	掘り込み式の駐車場に関しては、2億円と概算して事業者を募集するため、事業者側の設計費による部分もあります。グラウンドの宅地造成費用は、事業者の提案次第であり、段差をなくすかもまだ決まっていません。 →掘り込み式の駐車場建設、園舎解体については、それぞれ2億1,000万円、7,000万円を上限として補助を行います。
2	精道幼稚園の改修費用は1億1,000万円と聞いたが、間違いないのか。また、精道保育所に新しく認定こども園を整備するための土地の買収費用はいくらか。	土地買収費用は不動産の鑑定によります。 →精道幼稚園改修工事費用は約9,900万円を予算計上しています。
3	西蔵町市営住宅の撤去は市が行うのか。また、西蔵認定こども園の整備費用についていくら見積もっているか。	西蔵町市営住宅の撤去は市で行いますが、最終的な整備費用は未確定です。
4	いじめも出生率の低下も肉食が原因だと考えられる。また、国をあげて推進している減塩は自然治癒力を減らしてしまうので、塩分を多く取るようにしてはどうか。	ご意見として承ります。
5	若い世代から見て、芦屋が魅力のあるまちと感じてもらえるにはどうするべきだと考えているか。また、現在の出生率についてどう考えているか。	先人が築いてきたまちなみやブランド力を持ち、経済の中心である大阪と神戸の中間にあることから、芦屋市はまず衰退しないだろうと思います。若い世代に住んでいただくためには、子育て環境をはじめ、住みやすいまち・子育てしやすいまちにすることが必要だと考えています。本市では、現在の出生数の維持を目的としています。
6	市の空き家の実態や空き家対策について教えてほしい。	高浜町、若葉町の高層住宅にお住まいの方が減少しています。他市と比べて顕著な空き家率ではないと思いますが、根本的な対策を考える必要があります。芦屋市の空き家は流通にのってしまふことが多く、空き家のまま放置されることはめったにありません。子育て支援や地域の交流の場として有効活用していただける場合の補助制度創設に向け準備を進めています。

◆西蔵集会所【平成30年4月21日(土) 参加者数16人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質問・意見等	回答等
7	全国的に高齢者が単身で死亡するケースが増えているが、対策は考えているのか。	<p>地域の方や民生委員の方が単身世帯の高齢者を把握していただいています。市でも声かけ運動等を行い、見守っています。</p> <p>→高齢者生活支援センターや民生委員など地域の方々によって単身世帯の高齢者を把握するとともに、必要に応じて訪問等を行っています。また、芦屋市地域見守りネット事業では、市内の事業者の方々に協力事業者として登録していただき、地域での見守り活動をしていただいています。今後も高齢者の方が地域で安心して暮らせるよう、地域共生社会の実現に向けた「我が事・丸ごと」の地域づくりを推進します。</p>
8	部活動支援員に地元の人を採用してはどうか。	<p>部活の引率ができるのは学校の先生に限られていましたが、新たな制度により部活動支援員を各中学校に1名ずつ配置できるようになりました。スキルのある地元の方に来ていただけるのは非常に光栄です。ぜひ地元の皆さまからのお声掛けやご協力をお願いします。</p>
9	小学校の卒業式で袴や着物を着るのが流行っているが、派手すぎるのではないか。また、入学式や卒業式の日に、学習塾から委託されたシルバー人材センターが校門前でビラ配りをしているが、やめさせてほしい。	<p>卒業式の服装については、他市でも同様の事例があります。禁止はしていませんが、メリットやデメリットを踏まえ学校の状況に応じて考えます。ビラ配りについても禁止していませんが、ビラの基準等についてシルバー人材センターに確認します。</p> <p>→シルバー人材センターへ確認したところ、「ビラ配りの基準についての受託基準はなく、その都度判断していますが、政治的・思想信条等法的に触れること、公序良俗に反すること、行政への批判などは基本的にお断りしている。」との回答をいただいています。</p>
10	配布資料には、「共助の地域づくり」以外に高齢者に対する施策が入っていないが、取組は行っているのか。	<p>以前から非常に熱を入れています。配布資料では今年度の新たな取組を中心にご説明しています。</p> <p>→高齢者に対する施策では、介護保険制度の基盤整備として、高浜町1番社会複合施設において定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスや地域密着型デイサービスの整備を予定しています。</p>

◆西蔵集会所【平成30年4月21日(土) 参加者数16人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質問・意見等	回答等
11	自治会や老人会には世話人になりたがる人が少ない。地域の自治会に入りお世話をするのも1つの共助のあり方だということを「共助の地域づくり」の取組に加えてほしい。	→地域福祉計画を策定し、つながりのある地域コミュニティをつくるため自治会などの地域活動や参加を支援する取組を進めています。
12	精道中学校の北側の歩道が狭く電柱も立っており、車いすが通れないので広げられないか。	現在、精道中学校建替えの実施設計中であり、その中で検討します。
13	夏の教育トークについて学校やPTAには連絡があるが、地域には来ていない。防犯グループなどにも連絡してほしい。	→ホームページや広報あしやへの掲載、市内掲示板へのポスター掲示を継続して行い、今年度は自治会を通じて配布するチラシの枚数を増やすなど、広く周知を図ります。
14	国道43号線の打出交差点に、横断歩道と歩道橋に至るエレベーターを設置してほしい。また、交差点の南側に駐輪場をつくってほしい。	駐輪場については、兵庫国道事務所に現在申し入れているところです。 →エレベーターについても兵庫国道事務所に設置を要望しています。
15	①JR線以南国道2号線まで②国道2号線以南国道43号線まで③国道43号線以南旧堤防まで④旧堤防以南、⑤その他の各地域で、福祉避難所に避難すべき要配慮者はそれぞれ何人か。	→支援が必要な要配慮者の総数は、①:129人、②:312人、③:469人、④:271人、⑤:540人の合計1,721人です。避難される方のうち、要配慮者や避難所での避難生活が困難な方等が福祉避難所への収容が必要な方です。
16	市内の各福祉避難所について、収容人数は何人か。	→福祉避難所収容人数の合計は834人です。なお、災害時の被害状況や施設利用状況等により収容人数は変化するため、目安の人数です。

◆西蔵集会所【平成30年4月21日(土) 参加者数16人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
17	他の自治体や民間団体と防災関連での協定は締結しているか。	→行政とは16件、民間とは32件、消防及びライフラインとは10件締結しています。行政との協定内容は、資機材・食料等の物資の供給、応急復旧等に必要な職員の派遣等であり、民間との協定内容はLPガスの供給、段ボール製品の供給等です。また、市内業者とも建設資機材の提供等で協定を締結しています。
18	南海トラフ巨大地震が起きた際、避難所に避難者を十分受け入れられるキャパシティはあるか。仮設住宅、復興住宅の土地確保は予定されているのか。また、土地確保が困難な場合における他市との協定締結状況を教えてほしい。	→南海トラフ巨大地震の想定避難者数は、県では最大で4,208人と算出されていますが、市内の避難所収容人数は、国道43号線以北の避難所だけで約5,000人(23箇所)を確保しています。また、応急仮設住宅の建設可能地として、市内では小中学校のグラウンドや公園等の27箇所を確保しています。 なお、津波による浸水等の影響で上記が利用できない場合は、県への供給斡旋要請及び「被災者向け公営住宅等情報センター」に協力を要請し、公営住宅等の空き家を確保します。
19	国土交通省の「大規模災害時における船舶活用セミナー」について、県より説明はあったか。避難所・仮設住宅の確保が難しい場合には船舶活用が必要となるが、県とは調整しているか。	→セミナーに係る県からの説明等はありません。また、現在のところ、船舶を活用した避難対策について県とは未調整です。
20	災害時の水平避難に係る警察との協議状況及び実践訓練、頭上訓練の実施予定について教えてほしい。また、水平避難を安全に行うため、歩道のバリアフリー化等の道路整備が必要だと思うが計画されているか。	→平成28年度の防災総合訓練において、芦屋警察署と連携し、国道43号線の交差点に警察官を配置し、水平避難する市民の避難誘導等を行う実践訓練を実施しました。また、芦屋警察署が関係機関として委員になっている防災会議でも、災害時の避難行動等について市の対応方針を示しています。歩道のバリアフリー化は、平成24年度以降、順次歩車道切下げ部の段差解消に取り組んでおり、今年度策定予定の芦屋市無電柱化推進計画では、整備の際には幅員構成の見直しも含めてバリアフリー化を図るものとしています。
21	(仮称)西蔵認定こども園建設にあたり、子どもの避難所として海技大学校と正式な契約を結ぶべきだ。	→海技大学校への協力依頼は、現在基本設計に着手したところである認定こども園の構造等が一定明らかになった段階で行う予定です。避難に関する協定は、園の避難計画等の考え方も踏まえて、今後協議します。

◆西蔵集会所【平成30年4月21日(土) 参加者数16人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
22	認定子ども園を市立、私立のどちらも建設するのはなぜか。	→市立・私立それぞれの特色を生かし、多様な保育内容を展開することで、相互交流等を通じて保育の質の向上につながります。私立での運営には、国・県からの助成があり、限られた資源を有効活用できることから、将来にわたる就学前教育・保育施設の維持や、待機児童解消などの子育て支援に取り組むことが可能となります。
23	ある議員から、「幼稚園は競争心を育む場所」との発言があったが、それについての見解を求める。	→競争心とは、「相手に勝とう」とか「負けたいいけない」ということではなく、同学年で別クラスの子どもが発表会等の行事で互いに切磋琢磨し共に成長することや、先生同士も同様に切磋琢磨することにより教員の資質向上に繋がっていくものと考えています。
24	(仮称)西蔵認定子ども園の設計図を早急に発表し、地元住民及び通園を考えている保護者へ説明会を実施してほしい。	→現在、基本設計に着手したところであり設計図は未完成ですが、建物の出入口の数・位置や動線の確保等、垂直避難にも対応できるよう基本設計の中で検討中です。また、時期は未定ですが、説明会は開催予定です。
25	(仮称)西蔵認定子ども園には防災上の課題が多いと思われるが、具体的な対策を考えているか。	→(仮称)西蔵認定子ども園整備における津波対策としては、水平避難を原則として、現在着手している基本設計において垂直避難にも対応できるよう検討を進めています。また、既存の学校園や保育所等と同様に、周辺の地域の状況等を踏まえ避難計画を策定する予定です。他の課題についても、関係機関と連携・協力のうえ対策を講じることとしています。
26	巨大災害が発災した際の復旧・復興費用にふるさと納税が活用可能と考えるが、その周知方法及び年間納税額を教えてください。	→現在、ふるさと寄附では、文化財保護、教育振興、緑化事業など15の用途を設定し、ホームページやふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」などで周知しています。また、ふるさと寄附金額は、近年の実績を踏まえると年間約6,000万円と見込んでいます。発災時から国の援助が実行されるまでの期間は、市が積み立てている基金の活用により、救援作業や復旧作業に支障がないよう対応します。
27	市は「検討します」と回答することがあるが、政治用語であり、何も対応していないのではないか。	→各課題に対し、対応を進めています。

◆西蔵集会所【平成30年4月21日(土) 参加者数16人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質問・意見等	回答等
28	森友学園の改ざん問題に対し、市として意見書を出す予定はあるか。	→国に対し、意見書等の提出は現在のところ考えていません。
29	南海トラフ巨大地震が起きた際、小・中学校などの避難所運営責任者を校長とし、地区自治会や自主防災会へ運営を委託してはどうか。職員は庁舎で災害対策本部の業務に集中すべきだと思う。	→発災当初は、避難者の受け入れや避難者名簿の作成等の避難所運営に係る準備業務が多数発生するため、初動時においては職員を配置する方が望ましいと考えていますが、今後は、教員や自治会・自主防災会に対し、各学校園ごとの「避難所開設・運営マニュアル」の習熟を図り、避難所運営の主体を担っていただけるように努めます。
30	看護師や電気技師等の特殊技能保持者の登録制度を設け、災害時の避難所運営等のボランティアに参加してもらってはどうか。	→南海トラフ巨大地震等の大災害時は支援が分散し、特殊技能を有したボランティアは特に人材難となることが想定されるため、人材の確保は必要だと考えています。仕組みの構築にあたり、災害時のボランティアセンターを運営する社会福祉協議会と協議を行っていきます。
31	市民の防災意識について全市民対象のアンケートを実施し、今後の訓練や防災・減災政策立案に活かしてはどうか。	→昨年、全自治会等を対象に、地区防災計画や要配慮者支援の個別説明会を実施しています。その中で、防災に係る地域の課題や意見を聞き取り、今後の訓練や施策に反映させていくこととしています。
32	防災士の資格を持つ職員を「芦屋防災士の会」に加入もしくは全体会にオブザーバーとして参加させてはどうか。また、防災訓練で役割を与え、自主防災会主催行事に参加させてはどうか。	→防災士の資格や「芦屋防災士の会」への入会に関わらず、市民との直接のふれあいは重要だと考えていることから、現在、職員研修の一環として、防災訓練などの地域行事に市の職員が積極的に参加する取組を行っています。また、市の防災訓練や職員訓練などへの参加を通じて、職員の防災意識の向上を引き続き図ります。
33	宮川小学校に屋上を作り、災害時トイレやおむつ類などの備蓄倉庫の設置、ヘリコプターが活用できるスペースを確保してはどうか。	→宮川小学校の大規模改修等の機会に、防災機能について管理者と協議します。
34	「街づくり協議会」を自治会単位で立ち上げ、行政や専門家を含めた話し合いを行い、被災後の早急な復旧・復興に役立ててはどうか。	→地域コミュニティの防災計画である地区防災計画の策定において、平常時から復旧・復興までの地域での取組を盛り込むことで、地域全体の防災力向上につながると考えています。また、計画策定時に行政の参加や学識経験者の派遣も可能です。

◆西蔵集会所【平成30年4月21日(土) 参加者数16人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
35	保健福祉センターの避難所指定を解除し、福祉避難所のみ指定にしてはどうか。隣接する木口記念館を一般避難者の避難所とすれば住み分けができると思う。	→保健福祉センターは福祉避難所であると同時に、施設の構造等の特性を持つことから、津波一時避難施設として指定しています。津波の発生時には一般避難者が避難する可能性はあるものの、移動が可能な状況になれば、海技大学校等の避難所へ移動いただけるよう依頼します。
36	災害発生時の関連死や孤独死は重要な課題だと思う。市として、「関連死・孤独死ゼロを目指す街あしや」を宣言してはどうか。	→災害時の関連死を防ぐため、福祉避難所の指定や避難所における福祉的避難場所の設置等を行っています。また、災害後の避難生活においては住民同士の「共助」による支え合いが不可欠であり、日ごろから地域の方々と顔の見える関係をつくるのが大切です。本市では、要配慮者名簿を活用した要配慮者支援の取組を推進しています。